

令和2年度下半期 造血細胞移植委員会報告

委員長：日野 もえ子 委員：平山 雅浩、福島 啓太郎、井口 晶裕、安井 昌博、加藤 格、
成田 敦、山本将平

オブザーバー：矢部 普正 佐藤 篤、橋井 佳子 敬称略

- 1) 本邦小児における同種造血幹細胞移植後予防接種の現状と生ワクチン接種効果への関連因子の調査研究について

施設調査、患者調査とも調査票の収集が進まず、研究期間が2022年5月末日までに1年延長された。2021年6月14日で施設調査票 41 施設、症例調査票 74 症例が収集された。引き続き、手紙での研究協力依頼を継続中である。

- 2) 造血細胞採取ガイドラインの作成、末梢血幹細胞採取のドナーパンフレット作成について

安井委員と井口委員でドラフトを作成し次回の成人ガイドライン改訂時にあわせて小児の改訂を行う。委員会では成人へのジーラスタの適応追加への対応、小児の採取に伴う有害事象、モゾビルの使用状況について検討された。

- 3) TRUMP の改訂について

長期フォローアップデータの収集が始まる。JCCG(日本小児がん研究グループ、以下 JCCG)と足並みを揃えて小児向けの項目作成を進める。

- 4) 小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究について

約100施設、約900症例を収集することができた。論文化準備中。造血幹細胞移植ガイドラインにも反映する。

- 5) 「小児における造血幹細胞移植後の深在性真菌症の発生について」の調査を検討中である。

- 6) JCCG 造血幹細胞移植委員会で計画されている COVID 流行下での移植に対する影響調査について当委員会としても参加していく。

- 7) 福田班（国立がんセンター）による成人版 LTFU ツールの小児版開発に参加する。小児のトランジションを支援するツールも開発する。

以上